

第5・6学年 総合的な学習の時間学習指導案

児童数 5年7名 6年6名

指導者 清水 喜孝

1 単元名 つながりの中に生きる自分 ～ひばり野の魅力を見付けよう～

2 単元の目標

- ・探求することを通して、ひばり野地域の歴史や文化財、それらに関わる人の思い等について理解することができる。〔知識及び技能〕
- ・自分の生活と地域のつながりを考えることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕
- ・調べたことや体験したことを基に、これからの生活や行動に生かすことができる。〔学びに向かう力、人間性等〕

3 単元について

本単元では、ひばり野地域を調査したり関わったりする活動を通して、地域の歴史や文化財、それらに関わる人の思い等について理解し、自分の生活と地域のつながりを考え、これからの生活や行動に生かすことができるようにすることをねらいとしている。

児童は昨年度までの総合的な学習の時間で、ひばり野地域の自然や地形、舟見七夕祭りや舟見城址等について学習してきた。本単元では、地域の歴史や事物に詳しい方々から話を聞いたり、実際に見学したりしてさらに探求することで、児童が地域のつながりの中に生きていることに気付けるようにしたい。

4 研究主題との関連

＜視点1＞考えや自力解決の方法を自分の言葉で表現するための支援の工夫

①児童の問題意識を高める明確な学習課題の設定

本単元では、「ひばり野の魅力を見付け、学校ホームページで発信しよう」という課題を設定した。舟見地区は地域の中心として発展してきた歴史があり、それらは地域の方たちの研究によってまとめられ、残されている。しかし、児童が利用しやすい形になっている資料は少なく、5年生までの総合的な学習の時間でも調べ学習に苦勞する様子が見られた。そのような実態があり、児童はこのホームページ掲載資料が将来に渡って有効に活用されることを期待している。そして、大人だけでなく自分たちの後輩にとっても分かりやすい資料を作成しようと、主体的に学習に取り組んでいる。

＜視点2＞よりよく関わり学び合い、自己調整し、学びを進めるための学習過程の工夫

④互いの考えについて、異なる立場や視点から、共通点やよさについて話し合う場の設定

これまでに、舟見の郷土史等を発信している「ふるさと学習会」の方を講師に招き、様々な表現方法での発信について知識を深めている。また、発信方法を考えた段階で中間発表を行い、全員で検討を行った。本時は、それらを踏まえて作成したホームページの第1案を検討し、よい点や改善点を話し合う時間の2時間目である。1時間目の、絵地図での発信を企図しているグループとは異なり、記事で発信するグループに対して、完成したホームページの第1案を見ながら具体的に話し合う。外国人や後輩に分かりやすく伝えるという視点やインターネットの特性への理解を踏まえ、よりよい発信方法や発信内容のポイントを考える姿に期待したい。

5 単元の全体計画（全50時間）

- 第1次 地域との関わりを深め、伝統について考えよう(地域探検、専門家に話を聞く)・・・15時間
- 第2次 自分のテーマについて調べ、よりよい発信の仕方を考えよう・・・・・・・・・・20時間
- 第3次 作成したホームページ掲載資料を検討し合い、よりよい発信にしよう…15時間(2/15本時)

次	時数	全体の活動内容	記事チームの活動	絵地図A・Bチームの活動
1	1～4	ひばり野地区の魅力を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> これまでの生活や学習で得たひばり野地区のことをロイロノートの共有ノートで整理する。 舟見地区には、どんな魅力があるのか話し合う。 「雲雀野いろはかるた」で遊び、地区ごとに分けることを通して、ひばり野の事物に興味関心をもつ。 	
	5～10	地域探検をしよう	<ul style="list-style-type: none"> 舟見に関する書物を読み、宿場町の歴史を学習する。 舟見の宿場町を見学する計画を立てる。 舟見の宿場町を実際に歩いて見学する。 見学をもとに、ひばり野地区の魅力について話し合う。 	
	11～15	地域の専門家の方々から話を聞こう	<ul style="list-style-type: none"> 「雲雀野いろはかるた」を制作した「舟見ふるさと学習会」の皆さんから話を聞く計画を立てる。 「舟見ふるさと学習会」の方から話を聞いたり制作した絵地図を見たりする。気になったことを質問する。 聞き終えて、ひばり野地区の魅力について話し合う。 	
2	16～22	自分の調べたいテーマを考えよう。グループごとに調べ学習をしよう	<ul style="list-style-type: none"> 役割分担をする。 記事にするための調べ学習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「舟見ふるさと学習会」の絵地図を参考に実際に製作してみる。
	23～27	発信方法を考え、全体で話し合おう	<ul style="list-style-type: none"> 写真と文章を入れた記事を一人1枚書く。 後輩向けに分かりやすい文章にする。 外国人向けに、英語の文章に翻訳する。ALTに協力を依頼する。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際の地図を下地にして道を描き、家のイラストアイコンを並べることで、絵地図の形にする。 特別な建物は、神社やお店等のイラストアイコンで表現する。
	28～30	グループごとに調べ学習をしたり、制作を進めたりしよう	<ul style="list-style-type: none"> 書物やパンフレットを読んで調べる。 実際に記事を製作する。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵地図を製作する。 掲載する建物を取捨選択する。
	31～35	ホームページの第1案を完成させよう	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことをもとに記事を書く。写真を選び、レイアウトする。 ALTと協力して英語に翻訳する。レイアウトを直す。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵地図を家族に見せ、場所等を確認する。 ホームページのレイアウトを考える。
3	36～42	ホームページの第1案を見て、よりよいホームページになるように全体で話し合おう（本時2/15）	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いを通して、絵地図チームからのアドバイスを取り入れたり、よいところを参考にしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いを通して、記事チームからのアドバイスを取り入れたり、よいところを参考にしたりする。
	43～50	ホームページの最終案を完成させよう	<ul style="list-style-type: none"> もっと分かりやすい文章にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章での説明をつける。 見やすいようにレイアウトを調整する。
課外		ホームページを発信しよう	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページで作成したホームページを発信する 	
		ホームページを紹介しよう	<ul style="list-style-type: none"> 校内放送や学校だより等でホームページを作成したことを紹介する。 	

6 本時の学習（2/15時間）

(1) 目標 完成したホームページをよりよくする話し合いを通して、見る人のことやインターネットの特性を踏まえ、自分たちのホームページを改善する方法を考えることができる。

(2) 展開

<p>学習活動（配時） ・予想される児童の反応</p>	<p>・指導上の留意点 ◆評価<方法> ※「努力を要する」状況と判断する児童への手立て</p>
<p>1 前時の内容を振り返り、本時の流れと学習活動を確認する。 (5)</p>	<p>・前時の内容だけでなく、インターネットの特性を情報モラルの観点から振り返る。</p>
<p>ホームページでは、どんな方法で伝えると分かりやすいだろう</p>	
<p>2 代表グループが、ホームページの第1案を用いて発表する。 (5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちは、後輩にも分かるように分かりやすい文章を心がけました。 ・外国の人も舟見七夕祭りのことが分かるように。ALTの先生と協力して、英語翻訳をしています。 <p>3 よい点と気になる点を自分のワークシートに書き込む。 (5)</p> <p>4 よりよい発信のポイントについて全体で話し合う。 (10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTと協力して英語の文を入れているのがよいですね。 ・七夕祭りの歴史の文章が分かりにくいです。難しい言葉を減らしたらよいと思います。 ・何の写真なのか初めて見る人には分からないので、タイトルを付けて説明したらよいと思います。 ・写真と文字の大きさのバランスが悪いと思います。保健だよりのようなバランスにしたらよいのではないのでしょうか。 ・ここで見せたいのは写真なので、写真は小さくしたくないです。だから写真を上に、文章を下にするレイアウトにしたいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの第1案を大型テレビに投影する。また、ロイロノートの共有ノート機能を使い、児童タブレットからも自由に発表作品が見られるようにする。 ・よい点を担任が紹介することで話し合いの時間を十分に確保する。 ・校内の掲示物や、入善町の広報誌等、参考になる資料を拡大して掲示し、比べることで話し合いが深まるようにする。 ・必要に応じてペアやグループで話し合う時間をとる。 <p>※自分の意見を表現できない児童のために、ヒントとなるポイントを掲示したり、書く時間を十分に確保したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いで気付いたことを発表することで、気づきを共有し、次の活動に生かす。
<p>5 話し合いをもとに、意見を書き、発表する。 (15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を直して、もっと分かりやすくしたいです。 ・ぼくたちの絵地図にも、もっと説明を入れたいと思いました。 	<p>◆思考・判断・表現</p> <p>発信の仕方を話し合うことを通して、自分たちのホームページを改善する方法を考えている。<発言、ワークシート></p>
<p>6 振り返りを行う。 (5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を短くしたり、詳しくしたりして、もっと分かりやすいホームページに仕上げたいです。 	

(3) 授業の視点

児童が伝えたい相手を意識し、発信内容に適した表現方法を考える上で、話し合いの進め方は適切であったか。